



ASIS日本支部  
PSP 資格取得スタディグループリーダー  
株式会社 KGS インターナショナル  
専務取締役 橋田拓郎



## ASIS インターナショナル日本支部便り

### 4月度月次セミナー「イスラエル自己防衛システム」

皆さん、こんにちは。ASIS日本支部にてPSPの受験勉強リーダーを務めさせていただいている株式会社KGSインターナショナルの橋田です。PSPはCPPと同様にASISインターナショナルが公認している世界的権威のあるセキュリティプロフェッショナルの資格であり、今後日本での認知度向上及び必要不可欠なものと思われます。未だ日本人でこれらの資格を取得した人はおらず、セキュリティを専門職として国際的に活躍するには学歴や経験より強みがあるといえます。興味のある方は資格取得を目指す受験希望者勉強会「CPP/PS P Study Group」に参加してみたいはいかがでしょうか？

さて今月は世界的大流行(パンデミック)のインフルエンザが発症し、日本の危機管理能力が国民から問われています。今や危機管理とは安全な生活環境を確保する上で欠かせない存在になっています。4月の月次セミナーでは、「イスラエル自己防衛システム」と題してなぜイスラエルが世界最高のセキュリティオペレーションと危機管理の Know-How を構築出来たのか、日本の現状を踏まえ講演させていただきました。



警備業界で主に外資系クライアントにおける警備業務に携わってきた私は、イスラエルのIMI アカデミーにてテロ対策、セキュリティ管理、身辺警護などを勉強し、実際に様々な企業にて実践してきました。日本と海外の警備事情、そしてイスラエルの状況などを実際の経験に基づき、以下のような点に着目してみました。

- 実践で培った Know-How
- セキュリティに対する考え方
- セキュリティ関係者に対する教育
- セキュリティ関係者の社会的立場
- セキュリティ業界のキャリア化

イスラエルでは日夜ミサイルや自爆テロの脅威にさらされており、そのような現場で培われた Know-How は常に世界最先端を走ってい

るといえます。そのような歴史上背景からイスラエルの人々は物事を考える時や行動を起こす際、まずリスクの査定(Risk Assessment)を行います。そうすることによって危機管理を中心とした日常生活が普及し、それがセキュリティ業界全体の活発化にも繋がっているとされています。イスラエルでセキュリティ関係の仕事に携わっている人は社会に貢献し国民の安全を守っているとして尊敬されています。福利厚生や国からの援助等も特別なものがあり、セキュリティを専門職として扱うことでより良い人材の確保にも繋がります。一方、残念ながら日本のセキュリティ関係者(特に警備員)は余計なコストのかかる存在として扱われおり、その結果ハードウェアの導入が先走りをしてしまっています。監視カメラや出入管理システムの導入はセキュリティ強化に必要なものであるが、最終的にそれらを操るのは人間であり、充実した教育と Policy and Procedure(目的と手順)がなければどんなに高価なシステムも無意味になってしまいます。

イスラエルでのセキュリティの基本的概念は“セキュリティの輪”として各機関が情報を共有することによって成り立っています。

- Intelligence(国家)
- Anti-Terror(官公庁)
- Security(民間)

全ての機関がリンクすることによって、より高度なセキュリティ体制を確立しており、民間がコアな部分にあることによってその重要性は日本と比べ物にならないと思われます。日本においては国家、官公庁、民間機関の間でのコミュニケーションをさらに増やして隙間を作らないようにし、各機関の連携プレーを充実させる事で高度なセキュリティが確立されると思わ

れます。特に我々民間企業がそれを率先してやることによって日本のセキュリティ業界も活性化すると共に国レベルでの向上も期待することが出来ます。



私が強調したいイスラエルと日本の大きな違いはセキュリティ関係者に対する教育です。イスラエルや他の国ではセキュリティの専門学校や特別施設があるのに対し、未だ日本では教育機関がほとんどありません。利益を生まないという理由から各企業は教育に対して投資をしない傾向が強く残っています。教育に投資を行っている企業でも海外研修など日本以外の場所で行っている事も多いようです。イスラエルでは教育こそが業界全体の向上と確信しており、セキュリティを学位として認め、国からの証明書も発行しています。セキュリティ専門学校を卒業することによって就ける業務の内容も変わり安定した収入も確保できるシステムになっている事に加え、国もこれを後押しするように税金の控除や福利厚生の充実化、奨学金制度などを用いてより良い環境作りに貢献しています。日本でもそのような制度や施設などが出来れば、業界全体の向上にもつながり、教育に投資した分の数倍になって帰ってくると思われます。

先のテポドンの発射は我が国における最も危機感を覚える脅威だと思います。日本の政府

の対応はこれまでと異なり、比較的迅速な対応をしたと思われませんが末端の住民である我々には安全確保の為の正確な情報は伝わってきませんでした。政府とすれば余計な混乱を避ける為であったとの事ですが、実際に物事が起きてからスムーズに行動が出来るのでしょうか。そうした事を考慮するとイスラエルのように国家、官公、民間が全て連携していく事が大切だと思います。

例えば民間で言うのであれば、自治体レベルで周囲の住民と共に非常時における避難経路の確認や非常食の配布、医療等を自治体レベルで認識していく事が望ましいと考えます。そこで私たちセキュリティ会社はコンサルティングとして自治体や町会等に指導しセキュリティの認知度を高めていくなどの試みが必要だと思えます。セキュリティ業界の認知度や社会的地位を向上させるにはイスラエルのように安全と防衛に対して地域の住民と共に情報を共有していく事が大切です。セキュリティ業界が潤えばそれに携わる人たちも潤い、相乗効果の元、全ての機関がリンクして素晴らしいセキュリティオペレーションを確立できる事でしょう。

## ASIS日本支部事務局からのお知らせ

### 月次セミナーへのお誘い

ASIS インターナショナル日本支部は、月次セミナー(「セキュリティミーティング」)を開いています。産業セキュリティに興味がある方ならどなたでも参加できます。お申し込みはホームページから！

#### ■ 開催日

毎月第三火曜日 午後6 時半より

#### ■ 場所

日本支部のホームページでご確認ください。

[www.asis-japan.org](http://www.asis-japan.org)

#### ■ 参加費

2,000 円(ASIS 会員・非会員同一料金)

また、同日午後 5 時より、世界的に有名なセキュリティ専門家資格、CPP、PSP の受験を目指す人々が集まって開くスタディグループが発足しました。

今年から、日本国内での受験が可能になりました(英語による受験)。

興味のある方は、日本支部ホームページをご覧ください。

## 大阪で開催される「地域防災防犯展」に出展します

日本支部の活動内容を具体的に知ることできるよい機会です。是非 ASIS ブースにお立ち寄りください。

■名称 「地域防災防犯展」大阪

■会期 6 月 4 日(木)～ 5 日(金)

■会場 インテックス大阪

■主催 (社)大阪国際見本市委員会

■入場 当日登録制(受付にて、アンケートに記入後、入場者証と交換)

■運営 「地域防災防犯展」事務局／エグジションテクノロジーズ株式会社

■Web <http://www.fair.or.jp/risk/>

このコーナーへのお問い合わせや入会お申込みは  
ASIS インターナショナル日本支部 事務局まで

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-2-17

日本保安人事株式会社内

TEL 03-3255-3468 FAX 03-3258-7630

E-Mail [info@asis-japan.org](mailto:info@asis-japan.org)

[www.asis-japan.org](http://www.asis-japan.org)